

山下長津田線（鴨居地区）西側区間開通に伴う整備効果について

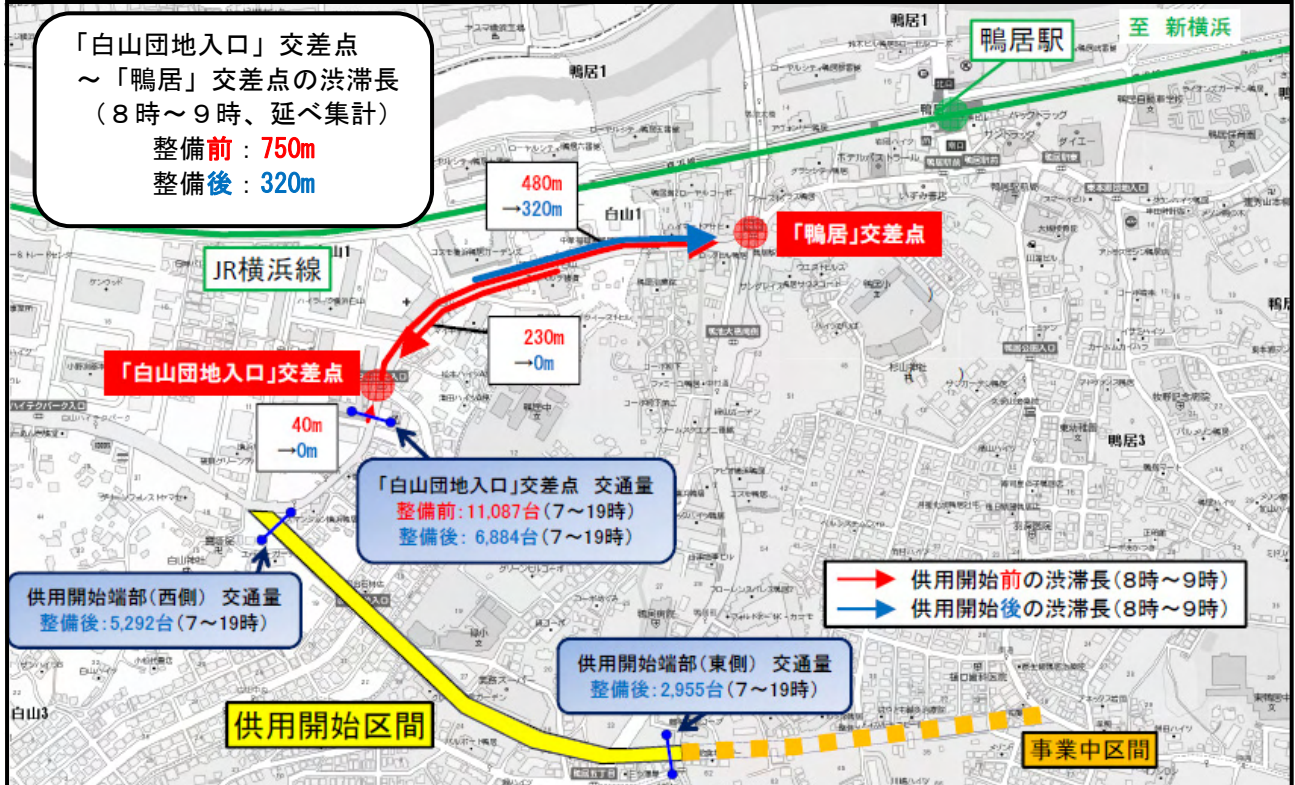
平成 22 年 3 月 31 日に開通した都市計画道路山下長津田線（鴨居地区）の西側区間（白山工区、約 750m）について、以下のとおり整備効果がまとまりましたのでお知らせします。

《主な整備効果》

- ① 鴨居駅周辺渋滞長 **430m**短縮
- ② 鴨居駅周辺所要時間 **半以下**に短縮（2分11秒短縮）
- ③ CO₂ 排出量 **約62t**／年削減（ケヤキ1,238本分に相当）



整備効果①：渋滞の緩和



※調査日 開通前：平成 21 年 7 月 2 日 (木)

開通後：平成 22 年 10 月 6 日 (水) (一部追加調査：平成 22 年 12 月 8 日 (水))

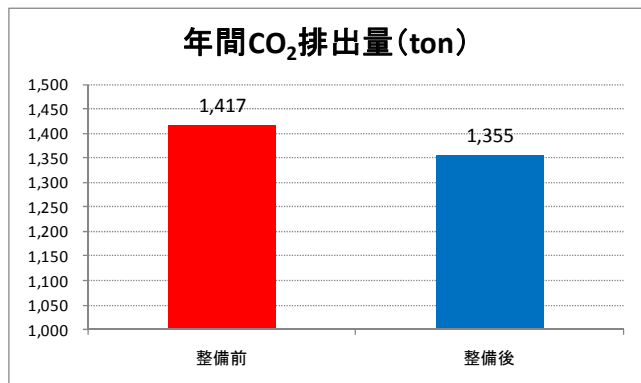
※裏面あり

整備効果②：所要時間の短縮



※調査日 開通前:平成21年7月2日(木)の交通量からの推定値
 開通後:平成23年2月9日(水)

整備効果③：CO₂排出量の削減

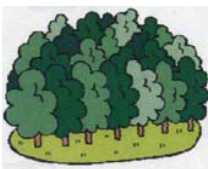


※ CO₂ 排出量以外にも、NO_x※³・SPM※⁴ の排出量が減少しています。

年間 NO_x 排出量 1,567kg → 1,506kg
 年間 SPM 排出量 60kg → 57kg

※³ NO_x: Nitrogen Oxide (窒素酸化物)
 ※⁴ SPM: Suspended Particulate Matter (浮遊粒子状物質)

開通区間及び周辺道路の自動車CO₂排出量が、開通前後で約**62t/年**減少しました。



森林換算約 **5.85ha**※¹
 (ケヤキ 1,238本の植樹に相当します※²)

※¹ 森林のCO₂吸収量は、10.6t-CO₂/ha/年として計算。
 <国交省関東地整HP参照>
 ※² ケヤキは胸高直径18cmの樹木を想定し計算
 <国交省国土技術政策総合研究所HP参照>

- ### 開通区間の概要について
- 区間
緑区白山一丁目から鴨居五丁目まで
 - 延長
750m(うちトンネル区間 255m)
トンネル名称:白鴨(しろかも)トンネル
 - 標準幅員
一般部:22.0m、トンネル部:17.3m
 - 事業期間
平成6年度~平成22年度
 - 事業費
約107億円

お問い合わせ先
 道路局建設課 建設課長 松尾 寛 Tel 045-671-2747